

自他の健康と安全な生活に関心を持ち、

すすんで生命を大切にする児童の育成

～ 命を守る学習、歯と口の健康づくりの取組を通して ～

岐阜県美濃加茂市立山手小学校

1 学校紹介

本校は、岐阜県南部に位置し、鉄道路線の発着地である美濃太田駅近くに立地する児童数 589 名、学級数 21 学級（特別支援学級 3 を含む）、開校 43 年目の学校である。校区は、3 地区の一部で構成され、地域連携に困難が伴う地域である。近年、宅地開発が進み、児童数が増加している。外国籍児童も年々増加し、50 名



在籍している。平成 27 年度、校舎改修工事、平成 28、29 年度、増築工事を行い、児童数増加に対応している。学校の教育目標「心豊かに自ら学ぶたくましい子の育成」を目指し、思いやりのある子（情）、すすんで学ぶ子（知）、体をきたえる子（体）、やりぬく子（意）を生み出したい子どもの姿に位置付け教育活動を進めている。平成 26 年度から「命を守る学習（防災教育）」「歯科保健活動」を特色ある教育活動に位置付け、取組を進めている。平成 26 年度から毎年、岐阜県学校歯科保健優良校表彰において、優良校、準県一位、県一位と表彰され、平成 29 年度には、全日本学校歯科優良校表彰「文部科学大臣賞」を受賞した。学校安全部門では、平成 27 年度岐阜県学校安全優良校表彰、平成 28、29 年度日本赤十字社青少年赤十字防災教育モデル校の指定を受け、防災教育の実践を継続し、公表会を開催した。

2 学校経営方針

山手小学校では「学校が地域コミュニティーの核となり、地域に貢献し、元気づけ、地域と共にある学校づくりを目指す」「命の大切さを学び、健康づくりを進めることが学校経営の基盤になる」と考え、学校経営の柱に「命を守る学習（防災教育）」「歯科保健活動」を明記し、取組を推進している。「命を守る学習（防災教育）」のテーマを『自らの生命を守るために必要な事柄を知り、主体的に判断し安全な行動ができる児童の育成』とし、防災主任、防災副主任を推進者に位置付けている。「歯科保健活動」のテーマを『主体的に歯・口の健康づくりのできる子の育成』とし、養護教諭、歯と口の健康づくり補佐を推進者に位置付けている。校内研究を「防災教育」に設定し、授業研究を全校体制で行っている。関係機関である消防団、県土木事務所、日本赤十字社及び学校歯科医・歯科衛生士、市健康課職員（保健師、歯科衛生士、管理栄養士）等との連携を強化している。

3 特徴的な活動 I 「命を守る学習（防災教育）」

「防災教育」「防災管理」「組織活動」の視点から年間を通して取組を進めている。

(1) 「防災教育」：「自ら考え判断し行動する力を育てる」**授業で子どもに力をつける**

①授業実践（学活、道徳、教科）

具体的方途(ア) **自分のこととして考えるための工夫**

具体的方途(イ) **「見届け」を活かした指導・援助のあり方**

具体的方途(ウ) **防災教育の視点（全教科共通）**

「学級活動」の中で「防災学活」を年2時間位置付けている。4年生の題材名「家で地震が起きたら」では、《防災教育の視点》を「自分の家の危険個所を予測する活動を通して、どこが安全であるかどうしたら自分の身を守ることができるかを考えている」として実践した。学級活動の授業、防災タイムでは、日本赤十字社作成の「まもるいのち ひろめるぼうさい」を活用している。



【自宅居間のセーフティゾーンの話し合い】

②シェイクアウト訓練（月1回）

緊急地震速報を流し、シェイクアウト訓練を毎月実施している。多様な時間帯に繰り返し行い、野生の勘を磨いている。

平成28年度からは、授業参観時、児童・保護者・教職員合同で実施している。



【そうじ中のシェイクアウト訓練】

③やまて防災タイム

災害・防災に対する正しい知識や技能を習得させるため、月1回朝活動の時間に「やまて防災タイム」に取り組んでいる。防災クイズ・防災クロスワード・防災読み聞かせ・防災カルタ等で楽しく学んでいる。



【防災タイム「防災カルタ」】

(2) 「防災管理」：「災害時の安全確保をはかる」**職員力で子どもを守る**

①職員研修の推進

- ・毎年、救命救急法講習会、緊急時引渡訓練、初期避難所開設訓練を行い、いつでも対応できるようにしている。
- ・講師を招き、DIG・HUG・避難所運営の実際などを学んでいる。

②人材育成（教職員が防災士資格を取得）

教職員の防災教育の指導力を高めるために、教職員が岐阜県防災士養成講座を受講し、平成28年度3名、平成29年度6名が防災士資格を取得している。どの学年にも防災士の教職員が位置付いている。

(3)「組織活動」：「地域、家庭等との連携を進める」**地域で子どもを守る**

①地域・関係機関との連携(各種出前講座等)

地元の消防団、県土木事務所、市土木課、消防署、日本赤十字社に依頼し、体験的活動を進めている。出前講座を活用したり、ボランティア活動として依頼したりしているため金銭的負担は発生していない。どの学校でも取り組める内容になっている。

(ア) 6年生 「心肺蘇生法講習」

胸骨圧迫、AEDの使い方を学んでいる。



(イ) 5年生

「砂防講座」 県可茂土木事務所出前講座

地域の過去の災害を学んでいる。

(ウ) 5年生

「川のリスクマネジメントプログラム」

川で遊ぶときの注意事項を知り、ウェットスーツ、ライフジャケットを着て、学校近くの木曽川に入り、救助活動等を体験している。



(エ) 4年生 「消防団体験」

「放水体験」「ポンプ車体験」「防火服体験」を行い、消防団を身近に感じている。



②家庭との連携

(ア) 合同シェイクアウト訓練

授業参観時に児童、保護者、教職員合同で実施し、保護者も身を守る行動を身に付ける機会になっている。



(イ) 心肺蘇生法講習(4年生保護者)

毎年、初めてプール当番になる4年生保護者を対象に心肺蘇生法講習を開催している。



○PTA防災教育講演会(保護者対象)開催

○親子登下校による通学路安全確認

4 特徴的な活動Ⅱ

「歯・口の健康づくり（幸せ・アイデア・楽しさいっぱい 山手はっぴー活動）」

「保健教育」「保健管理」「組織活動」の視点から、年間を通した活動を展開している。

山手小学校はっぴー活動の本柱

1年生 4年生

保健教育

6年生 レベルアップ歯みがき学習

2年生

保健教育

3年生 レベルアップ歯みがき学習

4年生

保健教育

5年生 レベルアップ歯みがき学習

6年生 レベルアップ歯みがき学習

【学校の教育目標】
心豊かに 自ら学ぶ たくましい子の育成
*思いやりのある子(情) *すすんで学ぶ子(知) *体をきたええる子(体) *やりぬく子(意)

【保健教育の目標】
主体的に歯・口の健康づくりのできる子の育成
『ひろがる、つながる、つづく、山手はっぴー活動』

【保健管理】
ハイリスク児童への指導と管理の充実を図る

【組織活動】
PTAと連携し、家庭への啓発を工夫する

【保健教育】
歯・口の健康を高め、すすんで1日3回歯みがきができる子を育てる

【めざす姿】
自らすすんで歯みがきができる子
低学年：歯みがきがきちんとできる子
中学年：正しい歯みがきができる子
高学年：自分に合った歯みがきができる子

【保健教育】
歯科保健指導・学習
(2) 歯科衛生士ブラッシング指導
(3) 校長賞
(4) 図画・ポスター・標語応募
(5) 厚重金活動
(6) 歯・口の健康に関わる校内掲示
(7) 全校朝会・保健指導

【組織活動】
PTAと連携し、家庭への啓発を工夫する
(1) PTAとの連携
(2) 学校保健安全委員会
(3) 学校歯科医・歯科衛生士
(4) 地域・関係機関との連携
(5) 家庭地域に発信

【保健管理】
ハイリスク児童への指導と管理の充実を図る
(1) 新の健康観察
(2) 歯・口腔の健康診断
(3) ハイリスク児童の指導
(4) 歯垢染色
(5) 予防指導

【保健教育】
歯・口の健康を高め、すすんで1日3回歯みがきができる子を育てる
(1) 歯科保健指導・学習
(2) 歯科衛生士ブラッシング指導
(3) 校長賞
(4) 図画・ポスター・標語応募
(5) 厚重金活動
(6) 歯・口の健康に関わる校内掲示
(7) 全校朝会・保健指導

【保健教育】
歯・口の健康を高め、すすんで1日3回歯みがきができる子を育てる
(1) 歯科保健指導・学習
(2) 歯科衛生士ブラッシング指導
(3) 校長賞
(4) 図画・ポスター・標語応募
(5) 厚重金活動
(6) 歯・口の健康に関わる校内掲示
(7) 全校朝会・保健指導

【組織活動】
PTAと連携し、家庭への啓発を工夫する
(1) PTAとの連携
(2) 学校保健安全委員会
(3) 学校歯科医・歯科衛生士
(4) 地域・関係機関との連携
(5) 家庭地域に発信

【保健教育】
歯・口の健康を高め、すすんで1日3回歯みがきができる子を育てる
(1) 歯科保健指導・学習
(2) 歯科衛生士ブラッシング指導
(3) 校長賞
(4) 図画・ポスター・標語応募
(5) 厚重金活動
(6) 歯・口の健康に関わる校内掲示
(7) 全校朝会・保健指導

(1) 健康づくりにつながる「保健教育」

①自己肯定感を高める歯ぴか校長賞

歯みがきをがんばっていると認めた児童を「歯ぴか校長賞」として表彰している。学校歯科医もお祝いにつけ、校長室に招くごほうび給食もある。



②養護教諭の個を大切にした指導

「はっぴーバースデーの取組」では、誕生日に保健室に招き、発育測定や歯みがき指導、健康相談を行いながら「かけがえないあなた、心と

体を大切にしていってね」というメッセージを送っている。



③学校歯科医・歯科衛生士と作り上げる歯・口の健康学習（全学年）

歯の本数や形、歯・口の役割を4年生で学ぶ。歯の模型の観察では「前歯はスプーンみたい」と自分の歯に触れたり、「歯の根っこは長いよ」と定規で測ったりする姿があった。最後に10年後の自分の歯に手紙を書き、山手ポストに投函した。自分の歯を愛おしく感じ、体の大切さに気付く授業となった。



(2) 自分の体と向き合う「保健管理」

①歯みがきタイムの「集中はみがき」は「山手小学校のたからもの」

「集中歯みがき」を合言葉に、毎日、全校が同じ時間に行う歯みがきを大切にしている。6年生は歯ブラシに加えて補助道具（ワンタフトブラシ・フロス）を自分に合わせて使い分け、磨き残さないパーフェクトな歯みがきを目ざす。



②はっぴー貯金日（5、6年歯垢染め出し）

毎月歯垢染め出しを行い、自分の歯みがきを確認する。判定結果はポイントにして「はっぴー通帳」にコツコツと健康貯金をしていく。教師との人間関係づくりのあたたかい時間につながっている。



③ハイリスク児童のはっぴー教室

歯・口の状態がよくない児童に、学校歯科医と歯科衛生士、養護教諭が個に応じたブラッシングを指導し、学級の児童の手本となる「歯みがき名人」と認定して自信を持たせている。



(3) ひろがる・つながる・つづく「組織活動」

①6年生への憧れと伝統をつなぐ取組

6年生が1～3年生に教える「なかよし歯みがき」、4、5年生に姿で伝える「あこがれ歯みがき」により、歯みがきの伝統が引き継がれていく。ほほえましい時間である。



②児童保健委員会の心の交流

歯みがきやかぜ予防を伝えている保育園や高齢者施設の訪問は、心の教育につながっている。



③PTAが企画運営し、自ら学び合う活動

PTA家庭教育委員会が健康課や給食センターとつながって保護者講座を開催し、健康調理実習や歯垢染め出し・RDテストを体験している。



④ボランティアのはっPママ隊

保護者の願いで、歯・口の健康づくりボランティアが発足した。カード点検や地域への発信活動をしている。



5 成果と課題

「命を守る学習（防災教育）」

成果① 児童の防災減災の意識が高まり、自ら判断し、行動できる児童が育ちつつある。

成果② 災害特性理解や災害対応への教職員の理解が進み、保護者にも災害への備えを大切にしようという意識が高まりつつある。

課題① 家庭、関係機関と連携しながら、活動を工夫し、「命を守る学習（防災教育）」の継続を図る。

課題② 家庭、地域への啓発活動を継続し、家族の身を守る意識を高める。

「歯・口の健康づくり」

成果① 1日3回以上磨く児童が9割を超え、治療率が向上しDMFT指数も低下した。

成果② 歯みがきへのひたむきさや「伝統」として意識の向上が児童に生まれてきた。保護者の理解も進み、協力性が高まっている。

課題① ハイリスク児童の指導とその保護者への働きかけを工夫する。

課題② 学校歯科医、家庭、地域の関係者と連携しながら、大規模校における歯科保健活動を工夫し、「歯・口の健康づくり」の継続を図る。